

こんにちは

-No. 47

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



市民の声にどう応える？

行政の今後の対応に期待

12月議会で取り上げた同性パートナーの方の声に対し、市の担当者から連絡が入りました。「当事者の方と懇談をさせていただきたい」と。

LGBTQ（性的少数者）は、言葉として広まりつつありますが、偏見・差別を恐れ、「自分自身を隠して生きている」という方もいらっしゃいます。

懇談で当事者の方の状況を伺い、「自身が想像もできな

ったことで苦しんでいることを認識した」と、担当者。そして「今後も懇談させてほしい」との要望に、「苦しいことも話さなければならぬけれど、生きやすく住みやすい街になるのであれば」と、当事者の方も快諾されました。

行政の仕事は、市民に寄り添って困りごとを解決することです。今後も様々な課題に対し耳を傾けていただき、解決に向けた取組を望みます。

活動報告・今後の日程

1月6日 新春宣伝

5人の日本共産党市議団で市内を回りました。多くの方にちらしを受け取っていただき、様々なお声かけもいただきました。（左下記事へ続く…）



2月11日 東村山を変える超党派議員連盟による 議会報告会



3月の市議会日程の予定

- 2月24日 初日
- 28日 代表質問（山田）
- 3月 1日 一般質問（さとう・渡辺）
- 2日 一般質問（浅見・山口）
- 3日 一般質問
- 7日～11日 委員会
- 14日～17日 予算委員会
- 24日 最終日

★本議会では、新年度予算について審議します。

“共産党”の名前



詳細はこちら！

変えたらどう？



「共産党は良いこと言っているけど…名前を変えたら応援するよ」「『共産党』は、中国の一党独裁イメージが強い」と、声をかけられました。

私たちが理想とする共産主義社会は、まだどの国も達成していません。自分らしく生きられ、好きなことを学び続け、自分自身が発達していける、一人ひとりが本当に「自由」な社会です。独裁なんてもってのほか。だからこの名前は大切に、変えられません。



～8時間働けば暮らせる 社会の実現を～

行き過ぎた利潤追求や、抑圧から解放されて、貧困をなくす。そして、働く人の健康を守る働き方や、芸術文化を楽しんだり学んだりする時間も必要です。

心に余裕ができれば、ゆとりある働き方や、良好な人間関係にもつながります。経済格差・環境破壊・労働環境悪化・福祉の後退など…これらは政治の問題であり、決して自己責任ではありません。

今年は党創立100周年。命がけで戦争反対を貫いてきた日本共産党は、現在の中国の人権侵害や抑圧に対し、厳しく改善を求めています。

コロナから見えてくる アメリカと日本の関係



オミクロン株など、米軍基地でのクラスター（感染集団）が発生し、アメリカ軍と日本の入国管理の関係が大きな問題となっています。沖縄県の玉城知事が米兵の入国停止・基地からの外出禁止を求めても、「抑止力のため」と、米兵の自由な出入国を認めてきた政府の責任は重大です。

その背景にあるのが日米地位協定（※1）です。

問題は、日米地位協定第9条で日本の入管法の適用や検疫が免除され、基地から直接出入国できることです。それも、アメリカ本土から日本に来るときはPCR検査が免除されていました。（日本からアメリカ・他国に行く際には検査が義務付けられているのに!?）

日米地位協定は、全国知事会も改定を求め

るなど、国政でも大焦点です。米軍に日本の法律が適用されない、日本には米軍基地への立入り権がない、日本が訓練・演習の規制をできない、日本は航空機事故の際の捜索権を行使しないなど、米軍特権ばかりの日米地位協定。1960年の締結以来、一度も改定されていません。主権国家とはいえない異常さです。

米軍がこれだけの基地を維持できるのは、日米安全保障条約と、同条約にもとづいて米軍の特権を定めた日米地位協定があるからです。加えて、日米の安全保障体制に固執する日本政府の姿勢があります。

（※1）日米地位協定 ～1960年締結～

第9条2 合衆国軍隊の構成員は、旅券及び査証に関する日本国の法令の適用から除外される。（抜粋）

（※2）日米安全保障条約 ～1960年締結～

第10条（条約の終了）この条約が十年間効力を存続した後は、いずれの締約国も、他方の締約国に対しこの条約を終了させる意思を通告することができ、その場合には、この条約は、そのような通告が行われた後一年で終了する。

★いま求められているのは、憲法に反する現実をただし、憲法を政治に生かすための議論だ

★日米地位協定のもとで国民の命と暮らしが脅かされている

★米軍機による落下物が相次ぐなどの重大事故が起きても日本の警察は捜査・検証を行えない現実。これで主権国家と言えるのか

★地位協定を改定し、国民に基本的人権を保障することは政治が最優先で取り組むべき課題

沖縄の現状を訴える

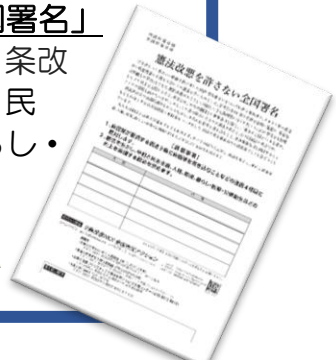
日本共産党

赤嶺政賢衆議院議員



日米安全保障条約第10条（※2）では、締約国のどちらかが条約終了を通告すれば、その後「一年で終了する」となっています。けれどもいまの政権は、敵基地能力まで保有し、憲法9条の改定で、アメリカと一緒に戦争する国への危険な道に踏み出そうとしています。

「憲法改悪を許さない全国署名」が始まっています。憲法9条改悪ストップ！そして平和・民主主義・人権・環境・くらし・医療・公衆衛生・・・
憲法に基づいた政治を実現させましょう。



東京の横田基地でも同じような状況が起きています。基地問題は、沖縄だけではなく、全国に及び問題です。

山添 拓参議院議員の
ライン登録はこちらまで！



憲法は希望！！



❖山田たか子
ツイッター



❖いま しんぶん赤旗 がおもしろい！
日刊紙 月3,497円（一部売130円）
日曜版 月930円（一部売240円）
日刊紙 電子版（月3,497円）



東村山民報 2022年2月号外 山田たか子活動紹介です。
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5